

## 中國文化大學（台湾）との国際合同実習を行いました（2018年9月2日～8日）

2018年9月2日から8日までの7日間、琉球大学農学部附属の与那フィールド(国頭村)において、中國文化大學理學院生命科學系(CCU)と琉球大学理学部生物系の学部生を対象とした国際合同実習を行いました。今回のテーマは、“ヤンバルクイナによる環境利用”。生物系から13名、CCUから15名の学部生と、生物系2名、CCU2名の教員(Liao, Chi-Cheng先生、Chen, Yi-Huey先生)、5名のTA(中西希さん、小林峻君、大河原陽子さん、野澤文人君、Cheng, Yuan-Cheng君)、台湾特有生物研究保育中心のLin, Yu-Hsiuさんが参加しました。



9月2日(日)の朝、那覇空港でCCUのメンバーを迎えた後、学生達は6つのチームに分けられました。まずは、初対面の緊張をほぐすべく、琉球大学の学生がCCUの学生をエスコートして、夕方まで自由な時間を過ごしました。



まずは自己紹介と行き先の相談。



夜は宿舎で第一回目の講義。

9月3日(月)は朝からバスに乗り込み、与那フィールドに移動です。途中で「やんばる野生生物保護センター」と「ヤンバルクイナ生態展示学習施設」に立ち寄り、本実習の舞台であるやんばるの自然と、主役のヤンバルクイナについて学びました。夕方与那フィールドに着いた後は、夕飯の準備。

与那フィールドで過ごす間、夕飯は自炊です。普段ほとんど料理をしないという CCU の学生達も、楽しそうに調理に取り組んでいました。もちろん、多少危なっかしいところもありましたが…。



ヤンバルクイナのキョン<sup>2</sup>も大サービスでした。



慣れない料理に挑戦！

9月4日(火)からは本格的に実習がスタートです。まずラジオトラッキングの原理や調査法について学んだ後、野外に出て実際の使い方を学びました。午後は、ヤンバルクイナの餌資源調査。環境が異なる5つの場所に各チーム1m<sup>2</sup>の方形区を設け、その中にいる生物の組成を調べました。



ラジオトラッキングって何？



説明の後は機材の使い方を確認。



どこかに隠されている発信器を探す。



草むらに潜む餌動物を素早く Get!

翌9月5日(水)は、研究目的で発信機がつけられているヤンバルクイナの行動を、ラジオトラッ

キングで追跡しました。技術的にも体力的にも厳しい作業でしたが、各班なんとか乗り切りました。午後も野外調査を続ける予定でしたが、“救いの雨”が降り始め、予定を変更し室内でデータ整理を行いました。



調査は日の出前からスタート。



調査は続きます…。



疲労困憊。



自分達で取ったデータを持ち帰って解析。

9月6日(木)は朝から講義とデータ整理。解析結果をもとにチーム内で議論し、夜のプレゼンに備えて時間ギリギリまで作業が continuation しました。



Team A



Team B



Team C



Team D



Team E



Team F

プレゼンは発表10分、質疑応答5分。議論が盛り上がり(?)、全然時間が足りませんでした。



プレゼンにはそれぞれのチームの個性が出ていました。

9月7日(金)は美ら海水族館で魚を見たり、カバンに入りきれないほどお土産を買ったりして大はしゃぎ。夕方には大学に戻り、さよならパーティーを開きました。空港で初めて顔を合わせた頃と比べると、すっかり打ち解けた様子です。



いざバックヤードツアーへ。



パーティーではタコ焼き作りが盛りあがりました。

9月8日(土)は夕方の便でCCUのメンバーが台湾へ。飛行機に乗るまでの時間、学生達はチーム毎に思い思いの時間を過ごしたようです。来年の実習は台湾で行うことが決まっています。次回もきっと、楽しく充実した実習になるに違いありません。



Thank you for your friendship. Goodbye and see you again!